



No. 3 0

有脇小学校校長だより

2019・12・19



1 うさぎの心音を聴く

1年生が生活科の授業で生き物について勉強しました。獣医さん3人来ていただいて、ウサギ小屋で飼育している3羽のウサギ（ペロ・ゆき・ショコラ）とふれあうことで、「生きていること」「生命」について学びました。抱っこしたり、聴診器で心音を聴いたり

してウサギの命を実感しました。「暖かい」「ドキドキしてる」「骨がある」などさまざまな感想が出されました。有脇小学校には立派なウサギ小屋があります。子どもたちも生活委員会がしっかり世話をしています。高齢になってきたウサギたちですが、獣医さんにも「とてもいい環境で育てられていますね」とお褒めの言葉をいただきました。この取り組みを通して、生命の尊さや不思議を感じ、自分の命も同じ大切な命なんだという思いを、子どもたちに自覚させることができたらと思います。



2 食べること

給食センターから栄養士さんに来ていただき、食に関する指導が実施されました。最終的には全学級で実施されます。

命のもとには食です。食べることの重要性を学びました。右の写真、5年生では、朝食をサンプルにしてさまざまな栄養素やその働きを勉強しました。色分けされたボードに、食品の名前を貼り付けて分類し、人の体のどんな力になったり、どんな部分になったりするのかを学びました。バランス良く食事をとることの重要性を認識することができたと思います。



3 快食快便 いいこといっぱい

12月4日に第2回学校保健委員会がひらかれました。テーマは「快食快便 いいこといっぱい」です。初めに健康委員会が1週間調査した「さわやかしらべ」の結果を踏まえて、有脇小学校の子どもたち

の実態を発表しました。その後、ヤクルト東海から3人の講師の方を招いて、排便と健康、腸のはたらきと健康など、さまざまなことをわかりやすくお話しいただきました。最後に、学校医のお二人の先生から、お話しいただきました。めざせ「ばななうんち！」です。



1年が過ぎるのが本当ににはやい

4 人間が人間らしく生きる権利

12月3日から10日まで、人権週間でした。人権とは「人間が人間らしく生きる権利で、生まれながらにみながもっている権利」です。



9日の朝会で子どもたちに話（内容は12月9日付ホームページ記事をご覧ください）をしました。

中央昇降口に貼ってあるポスター（左写真）には「みんな、ちがう。だからこそ、私らしく生きよう。」「みんな、おなじ。だからこそ、あなたらしさに私は寄り添う。」と書かれています。少し難しいので子ども

たちには「みんなと仲良くすること」と話しました。少し飛躍しているようですが、仲良くするためには、自分らしさを大切にすると同時に、まわりの幸せも常に考えなくてはなりません。自分さえ良ければいい、自分さえ楽しければいい、そのためにまわりの人を傷つけてもかまわない。いやがることを言ったり、暴力をふるったり。人権から大きく外れる行動です。そして、よく考えれば毎日が人権週間なんですね。毎日人権について意識することができたら、有脇小学校はとても素敵な学校になります。そんな学校にしていきたいです。

将来は教育関係に

愛知県立半田東高等学校の教育コース

に在籍している高校生20名が、今年も有脇小学校で授業を2度参観しました。将来は教育関連の仕事に就きたいという希望をもった生徒さんたちです。今までと違う立場で授業を見ることで、子どもたちの様子から、教育の素晴らしさ、やりがいなどを感じ取ってほしいと思います。



令和元年が終わります

はやいもので、新元号「令和」の元年が幕を閉じようとしています。1月からは令和2年です。1月7日が始業式です。それではよいお年をお迎えください。